

# あぐりサポートニュース

福島県農業振興公社だより

第 1 4 号 平成 1 6 年 8 月

発行元 福島市中町 8 番 2 号

財団法人福島県農業振興公社

TEL 024-521-9833 FAX 024-524-2393

## 平成16年度 農地保有合理化事業新任担当者研修会を開催

平成16年7月14日(水)、郡山市熱海町「郡山ユラックス熱海」において、平成16年度 農地保有合理化事業新任担当者研修会を開催いたしました。

この研修会は、新たに合理化事業を担当することとなった市町村及び農業委員会事務局の職員の方などを対象として、事業推進の基礎知識と事務実務の習得を目的として毎年開催しておりますが、今回は55名が出席され、熱心に研修されました。

前日から、梅雨前線の活発化による集中豪雨に見舞われ、特に南会津管内の方々には、災害対策のため欠席せざるを得ない事態となってまいりましたが、地域の皆さまのため止むを得ないことと



熱心な研修風景

思います。被災された皆さまには心からお見舞い申し上げます。



眠気も吹っ飛ばす講師の迫力

本年度は、農地保有合理化事業関係通知の大幅な改正が行われ、更に新規事業も2つ創設されるなど、例年になく盛りだくさんの研修となりました。

また今回は特に、本年度新たに福島県の補助事業として策定されました「地域ぐるみ農地集積事業」について、直接所管する福島県農林水産部担い手育成グループ主査の太田さんより、詳細な説明をいただくことができました。

## 農地調整課

### 農地保有合理化事業関係通知の改正と新規事業の概要ご紹介

#### 農地売買等事業の担い手要件の緩和

##### 60歳未満から65歳未満へ引き上げ

従来、公社から農地の売渡や貸付ができる意欲ある担い手農業者等の年齢要件は、60歳未満とされてきましたが、長年の要望が実現し、65歳未満へと引き上げられました。

#### 特別タイプの対象担い手の限定

##### 育成すべき経営体が除外

特別タイプ（利子負担無し）の参加要件が改正され、水田農業改革の担い手に集中化されました。

具体的には、目標面積以上の今後育成すべき経営体が対象から除外され、次の3者のみが対象となりました。

- ・ 認定農業者
- ・ 基本構想水準到達者
- ・ 認定就農者

#### 長期育成タイプに分割払い型が創設

##### 農地の割賦販売が出来るようになりました。

従来の農地の売渡については、売買代金は一括支払のみの制度でした。このため、買入資金を調達する場合は、融資を受ける必要がありましたが、新設された制度を活用すれば、最長

10年の分割払いが出来るようになります。

更に、分割払いに伴う金利については、無利子の取扱になっております。

農地を買入する場合、融資や保証人の心配から解放される新しい支援制度です。

#### 担い手育成地域推進事業の新規創設

地域水田農業ビジョンの担い手へ農地利用を集積することを目的に創設されたもので、廃止された総合推進(集合)事業を後継する事業です。

地域の中で、担い手集積ゾーンを設定し、実行計画である集積プランを策定して、農地集積を実践する事業の内容です。

リース料の過半が助成される農業機械リース事業も組み込まれております。

今後の当公社の主力事業になるものと期待しております。

#### 担い手育成農作業受委託促進事業の新規創設

公社などの農地保有合理化法人が、農作業受委託の仲介やあっせんを行い、水田農業改革の実現を図る事業です。

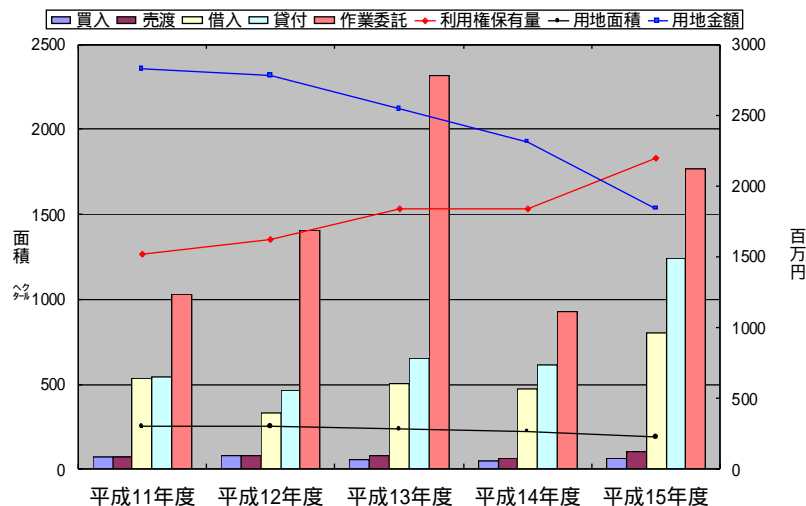
あわせて、昨年度まで公社が融資していた農作業受委託契約に関わる受託料前払資金については、本年度から農業改良資金に移行されたことから、改良資金の融資希望者への支援を行うことになりました。

## 平成15年度の事業実績

買入	63	ヘクタール
売渡	102	ヘクタール
借入	799	ヘクタール
貸付	1240	ヘクタール
作業受託	1766	ヘクタール

利用権保有量	2198	ヘクタール
--------	------	-------

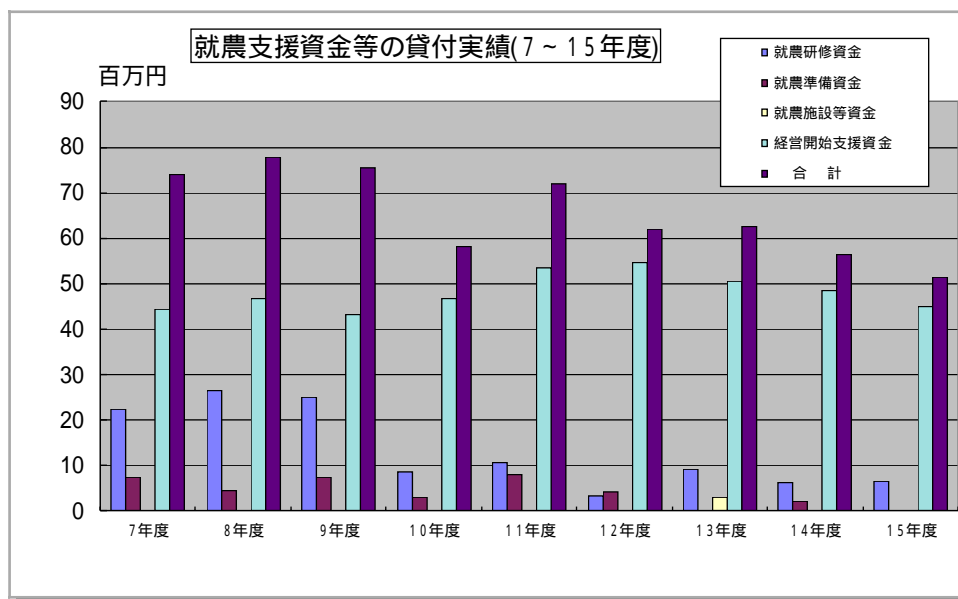
ちなみに賃貸借の実績は、全国の農地保有合理化法人中、1番です。



## 育成センター

平成15年度末の貸付累計実績 831件、589,736千円

平成15年度末現在、育成センターが、県内の新規就農等の支援のため貸し付けている就農支援資金や経営開始支援資金を合わせた融資実績は、  
 件数 831件  
 金額 589,736千円  
 となっております。



## 総務課

平成16年度の当会社の理事・監事及び評議員をご紹介します。

### 1. 理事及び監事

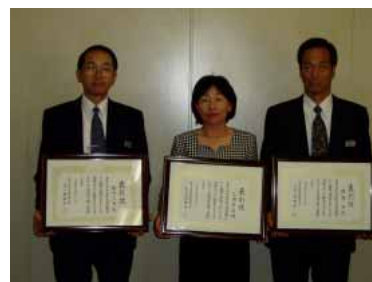
### 2. 評議員

役職名	氏名	職名	役職名	氏名	職名
理事長	野地 陽一	福島県農林水産部長	会長	馬場 恒郎	福島県農林水産部政策監
専務理事	星 恒徳	元福島県会津農林事務所長	副会長	長島 俊一	JA福島中央会参事
理事	植田 英一	福島県酪農業協同組合代表理事組合長	評議員	貝沼 幹夫	福島県農林水産部総務予算グループ参事
"	飯野 陽一郎	福島県土地改良事業団体連合会副会長	"	廣比 雄一	福島県農林水産部農村計画グループ参事
"	相楽 新平	福島県市長会(須賀川市長)	"	高泉 修	福島県農林水産部普及教育グループ参事
"	栗城 春夫	福島県町村会副会長(河東町長)	"	羽根田 一郎	福島県町村会常務理事兼事務局長
"	安田 壽男	JA全農福島県本部運営委員会会長	"	水野 秀一	福島県農業会議事務局長
"	佐川 栄蔵	福島県農業会議副会長	"	阿部 正	福島県土地改良事業団体連合会技監
監事	渡部 敏則	福島県出納局長	"	高田 泰	農業委員会(原町市農業委員会会長)
"	佐藤 勝哉	JA福島中央会常務理事	"	草野 好弘	福島県指導農業士会長

## 永年勤続職員表彰

去る6月2日に開催された理事会の冒頭、永年勤続職員が表彰されました。

30年勤続 審査役兼総務課長 紺野 三男 (写真左側)  
 " 農地調整課主幹兼課長補佐 岡部 明 (写真右側)  
 20年勤続 農地調整課主査 三浦 里美 (写真中央)



## サークルの活動と成果

サークルつばさ会長 柏木 剛

我々の「サークルつばさ」は、会津農林事務所喜多方農業普及所管内の若い農業者が集まって、平成7年度に発足した組織です。

現在、会員数は14名で、農業経営の課題解決のためのプロジェクト学習や情報の発信等を行うインターネットのホームページ作成等を中心に、次代を担う農業者として人間形成のための活動を目的に取り組んでおり、福島県農業振興公社(青年農業者等育成センター)のクラブ等組織活動資金もこれらの活動のため有効に活用しています。

今回、平成16年3月の「平成15年度全国青年農業者会議」のホームページコンクール部門の最優秀賞に引き続き「第45回福島県農業賞(農村青年活動部門)」という大変名誉ある賞を受賞しましたが、これもひとえに、「サークルつばさ」の活動にご指導ご支援をいただいた関係機関の皆様のお陰だと感謝しております。

これからも、受賞に恥じない活発な活動を通じて、地域の農業振興に少しでもお役に立てばと考えておりますのでよろしくお願いします。



知事を囲んでの記念撮影

## 編集後記

毎日暑い日が続いております。梅雨も有ったのやら無かったのやら。それでも集中豪雨だけは避けられませんでした。

異常気象と言われて久しいのですが、毎年が異常で、昨年が低温と日照不足、今年は日照り。地球温暖化のせいなのか、一体この先どうなるのでしょうか？

こんなとき思い出されるのは、宮沢賢治の「雨ニモマケズ」の一節。

「日照りの時は涙を流し、寒さの夏はおろおろ歩く」

基盤整備が進み、灌漑施設が整備され、生産調整で利用水量も減っている現在、日照りといっても今年の場合柄に大きな影響は無い模様ですが、時節柄、作柄が良ければよいで価格が心配。

昨年のようなことは、特別としても、どの程度の価格で落ち着くのか心配の種は尽きません。 JK

## 問い合わせ

あて先 〒960-8681  
福島県福島市中町8番2号  
財団法人福島県農業振興公社 総務課  
TEL 024(521)9834 FAX 024(524)2393  
みなさんのご意見ご感想をお寄せください。  
<http://www.fnk.or.jp>

この広報誌は、再生紙を使用しております。

「あなたを、守る シートベルト 忘れないでね」